

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第20号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年11月2日（月） 10時54分ごろ	
発生場所	青森県むつ市脇野沢港 脇野沢港東防波堤灯台から真方位297° 90m付近 (概位 北緯41° 08.6′ 東経140° 49.5′)	
事故等調査の経過	平成22年4月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	旅客船 かもしか、611トン 133368、むつ湾フェリー株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	右舷船底外板凹損、右舷ビルジキール曲損、プロペラ曲損	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、旅客11人を乗せて車輛4台を積載し、船首約2.1m、船尾約2.8mの喫水で、脇野沢港内を出航中、入航する漁船を避けようとしたところ、平成21年11月2日10時54分ごろ、同港の西防波堤突端付近の浅所に乗り揚げ、これを乗り切った。</p> <p>本船は、脇野沢港の港口沖で各部を点検し、青森県外ヶ浜町蟹田港に着岸後、潜水調査を行ったところ、プロペラに曲損を生じていた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北北西、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：風浪 なし、潮汐 上げ潮の中央期</p>	
その他の事項	<p>船長は、脇野沢港の入出航は経験豊富であった。</p> <p>脇野沢港の水路は、東防波堤と西防波堤とで囲まれており、可航幅が狭かった。</p> <p>本船は、蟹田港と脇野沢港間の定期運航に従事しており、平成21年11月5日から翌22年春までの間、運休していた。</p> <p>本船は、運航再開に当たり、平成22年3月15日に上架したところ、新たに船体外板などに損傷が発見された。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、脇野沢港を出航中、船長が入航する漁船に注意を向けていたため、西防波堤の突端付近の浅所に接近していたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が脇野沢港を出航中、船長が入航する漁船に注意を向けていたため、西防波堤突端付近の浅所に接近し、同浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	